

2026年度版北海道軟式野球連盟主催大会の運営ガイドライン

2026年5月1日現在



2026年度北海道大会における感染症予防対策・熱中症予防対策等のために運営ガイドラインを次のとおり定めます。

1. 監督会議

⇒ 基本的に学童大会を除き、原則しませんが、開催する場合は、道連作成の「代表チームへの周知事項」などを各支部の責任において事前に周知徹底させて下さい。また、開催する場合においても、会議も短時間に行うように努めて下さい。

2. 開会式

⇒ 基本的に学童大会を除き、原則、監督会議と同様に開催しませんが、実施する場合は、入場行進の省略や挨拶者を限定するなど、できる限り簡素化に努めて下さい。なお、開始式や始球式等の簡易なセレモニーの実施は開催支部に委ねます。

3. 閉会式

⇒ 開催支部主体で通常どおりの形で実施して下さい。

4. 本部席及び審判控室(屋外は除く)等

⇒ 室内での「密」を避け換気を適宜行うとともに、消毒液の配置にも努めて下さい。

5. 試合時の挨拶

⇒ 試合開始時や終了時の挨拶は、通常の整列方法とします。

6. 体調管理

⇒ 試合前、監督・選手をはじめとしたチーム関係者及び大会役員やスタッフ、審判員などの大会関係者は、熱中症予防対策ガイドラインと感染予防対策ガイドラインにより予防対策に努めて下さい。特に体調が優れない、おかしいと感じたら「自主的に休むことを周知」してください。

7. マスクの着用

⇒ マスク着用は、個人の判断に委ねますが、風邪気味の際はマスクを着用して下さい。

8. プログラム

⇒ 可能な限り「簡素な冊子」で作成することも推奨します。

9. 大会経費と備品

⇒ 地元企業などからの協賛金が見込めないことも想定されることから、可能な限り、道連大会助成金等で賄える規模の大会を心掛けて下さい。（掛かる経費は主に会場費及び大会スタッフ謝金並びに大会消耗品費等の運営経費を想定）道連助成金につきましては、開催地支部指定口座に振込みます。
また、高松宮賜杯や東日本のように1部と2部の大会をブロック内で分離開催する場合は、大会経費や大会備品の取り扱いなどについて事前に道連事務局と協議を済ませて置いて下さい。

10. 派遣役員

⇒ 道連から派遣する役員は、原則、大会長及び大会委員長・委員並びに審判長・審判員（技術員）ですが、大会長や大会委員については、開催地支部長や評議員にもお願いしますので、予めご承知下さい。

11. その他

⇒ JSBB 感染症予防対策ガイドライン、JSBB 熱中症予防対策ガイドライン、JSBB 危機管理マニュアルにより適切に判断、対応してください。